

愛知県がんセンターでの診療情報および診療時に採取・保管された検体を下記機関に提供し、下記研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	原 和生
2. 研究課題名	アジア人中腸NETの臨床病理学的特性に関する多施設共同研究
3. 研究の目的・方法	<p>アジア人で頻度が極めて低い中腸NET(Neuroendocrine tumor:神経内分泌腫瘍)病理組織・臨床情報を収集し、特に後腸NETとの分子生物学的な相違、ドイツで治療された非アジア人患者の中腸NETとの相違を明らかにする。またNET培養細胞を用いて治療感受性が異なる原因を検索し、治療の個別化につながる臨床病理学的因子を特定することを目的とする。</p> <p>研究期間:2017年12月22日から2022年3月31日 (遺伝子解析:①行う)</p>
4. 研究の対象となる方	外科的または内視鏡的切除により腫瘍組織が摘出された前腸、中腸、および後腸 NETで、10%ホルマリン固定パラフィン包埋組織入手が可能な症例
5. 研究に用いる検体・情報の種類	<p>検体名(前腸、中腸、および後腸 NET で、10%ホルマリン固定パラフィン包埋組織)</p> <p>診療情報内容(年齢、性別、腫瘍局在、腫瘍径、家族性腫瘍症候群(MEN1, NF1, VHL)、ホルモン関連症状の有無、腫瘍進行度(cTNM, cStage)、手術法、術前術後療法の有無とその症例、再発の有無、無病生存期間、全生存期間、ソマトスタチンシンチグラフィ、Peptide Receptor Radionuclide Therapy (PRRT)等)</p>
6. 他機関への提供方法	試料については東北大学医学系研究科病理病態学講座(病理診断学分野)に直接手渡し、あるいは郵送、情報については電子的配信にて行う。
7. 利用する者の範囲	<p>東北大学医学系研究科病理病態学講座(病理診断学分野) (藤島 史喜)</p> <p>ミュンヘン工科大学病理学客員研究員 (笠島 敦子)</p> <p>日本神経内分泌腫瘍研究会 (上本 伸二)</p>

① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当院の倫理審査委員会、遺伝子解析研究倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。

個人情報のお安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。

また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いること、提供を拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

☆お問い合わせ☆

愛知県がんセンター 中央病院臨床試験部試験支援室
倫理審査委員会事務局

住所：〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

FAX：(052-764-2963)

e-mail: irb@aichi-cc.jp

(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)